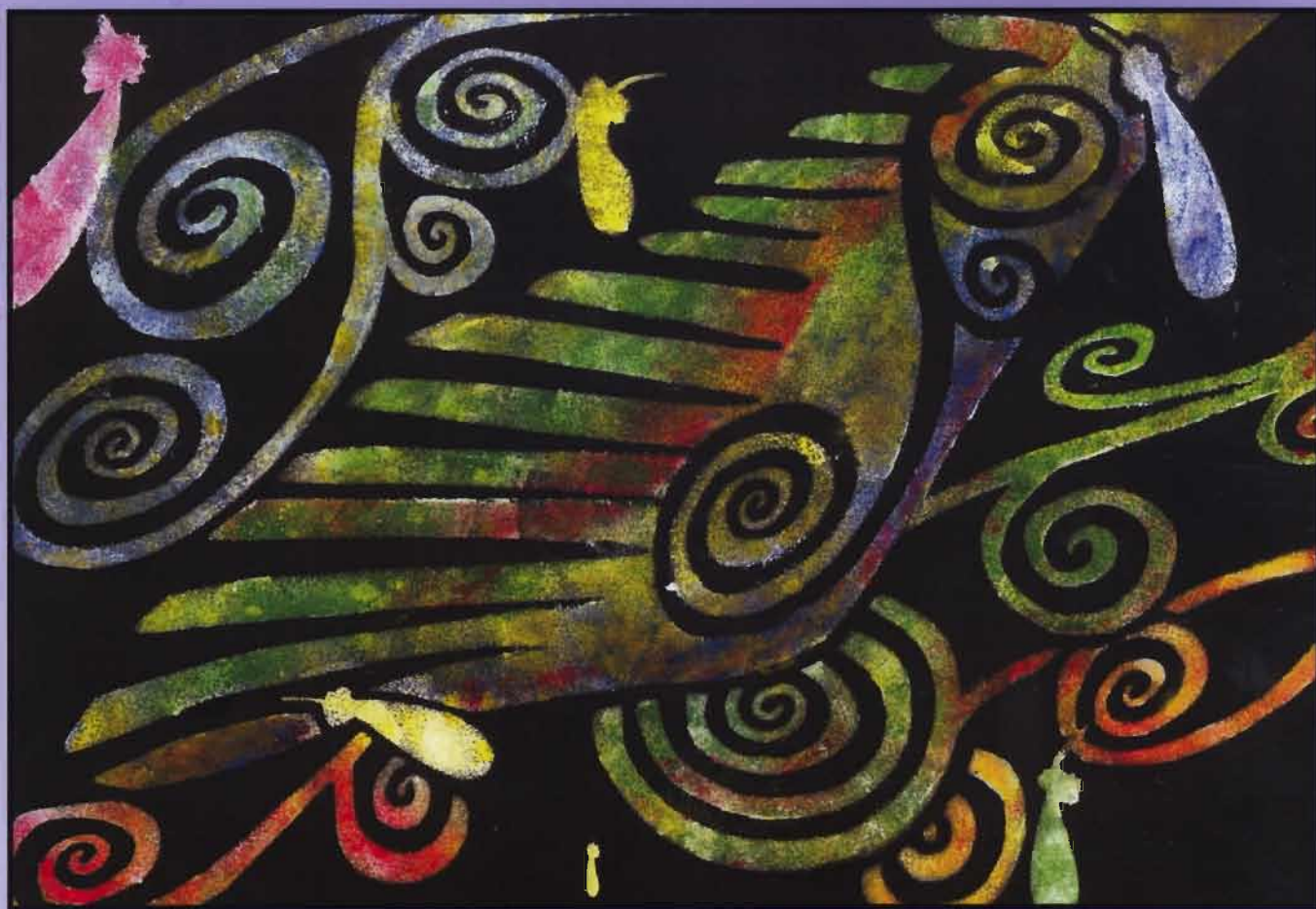


教職履修 カ ル テ



平成

年度入学

学 籍		所 属	文学部教育学科 初等教育専攻
氏 名		連絡先	

国 士 館 大 学

2011年（平成23年）4月	初版発行
2012年（平成24年）4月	2版発行



Kokushikan

6領域	修得・探究すべき教師力（各6観点）	関連する主な授業例
I 教職基礎	<p>教師として求められる教育的愛情や熱意、使命感、責任感、及び豊かな教養の修得</p> <p>①教師像（使命感・責任感・意欲） ②教育的愛情（熱意・根気・フォロアーシップ） ③表現力とコミュニケーション力 ④協働意識（チームワークとリーダーシップ） ⑤児童心理と発達理解 ⑥法規理解と服務</p>	<p>(必修) 教職論 教育基礎論 教育心理 発達心理 教育課程論 日本国憲法（教育法規） 体育実習</p> <p>(選必) 教育行財政（生涯学習） 日本教育史 西洋教育史 幼児教育学</p> <p>(選択)（コミュニケーション）</p>
II 授業実践	<p>子どもたちがもつ能力を発揮させ、授業を魅力的かつ効果的に設計・立案し、実践する力の修得</p> <p>①教材研究（教材解釈と学習材研究） ②指導計画・指導案（設計・作成、問題解決の学習過程、評価と学習活動） ③児童理解（受信と交流） ④授業実践力（発信と交流） ⑤個への対応 ⑥授業評価</p>	<p>(必修) 教科教育法（国・社・算・理 音・図・家・体・生） 道徳教育 保育内容（健康・人間関係・ 環境・言葉・表現） 幼児教育法 各概論等 卒業研究Ⅰ・Ⅱ</p> <p>(選必) 授業構成演習 器楽</p> <p>(選択) 特論 教育方法論</p>
III 生徒指導	<p>確かな児童理解に立脚し、個や集団との信頼ある人間関係を築き、問題に対して的確に対応・行動し、自己指導力を育む力の修得</p> <p>①児童理解とカウンセリングマインド（受信） ②生徒指導力（発信） ③個別指導（個・集団への指導） ④進路・キャリア指導 ⑤保護者対応 ⑥特別支援を要する児童への対応</p>	<p>(必修) 生徒指導論 教育相談、</p> <p>(選必) 幼児教育相談</p> <p>(選択) 特別支援教育（障害児教育・ 障害児保健）精神保健 （キャリア指導）</p>
IV 学校・学級経営	<p>子ども理解に基づいて、学年・学級を経営していく指導・支援力と協働力、そして説明責任能力の修得</p> <p>①学校・学年・学級理解 ②学年・学級経営（協働力と経営実践） ③集団指導（全体・グループ） ④個別指導 ⑤特別活動と学級指導 ⑥アカウンタビリティー（説明責任）</p>	<p>(必修) 特別活動 （学級経営論）</p> <p>(選必) 教育経営論</p> <p>(選択)</p>
V 現場実習	<p>子どもとの豊かな関わりを通じた、担任教師としての総合的な実践力の修得</p> <p>①教育実習 ②観察実習（授業観察とプロトコル） ③介護・特別支援実習 ④ボランティア実習 ⑤研修・研究会参加 ⑥その他の実習経験</p>	<p>(必修) 教育実習Ⅰ（事前） 教育実習 介護等体験</p> <p>教職実践演習</p> <p>(選必) 教育実習Ⅱ（事後）</p> <p>(選択)（観察実習） （学級介助ボランティア）</p>
VI 新しい教育動向	<p>教育の新しい動向や施策に基づき、創造的な教師となるための探究力とリテラシーの修得</p> <p>①総合的学習等 ②情報リテラシー ③外国語活動等 ④社会参加 ⑤教育改革の動向（指導要領改訂等） ⑥最新の教育情報</p>	<p>(必修) 情報科学 情報処理 教育情報技術 外国語（外国語活動）</p> <p>(選必) 総合的学習の実践演習 学校司書関連講座 （障害教育）</p> <p>(選択) 環境教育 （国際教育）（情報教育） （中免許）</p>

● カルテ I 教職基礎

- ① 教師像 (使命感・責任感・意欲)
- ② 教育的愛情 (熱意・根気・フォローシップ)
- ③ 表現力とコミュニケーション力
- ④ 協働意識 (チームワークとリーダーシップ)
- ⑤ 児童心理と発達理解
- ⑥ 法規理解と服務

教師として求められる教育的愛情や熱意、使命感、責任感、及び豊かな教養の修得

1 年		受講科目	評価

自己評価		

2 年		受講科目	評価

自己評価		

3 年		受講科目	評価

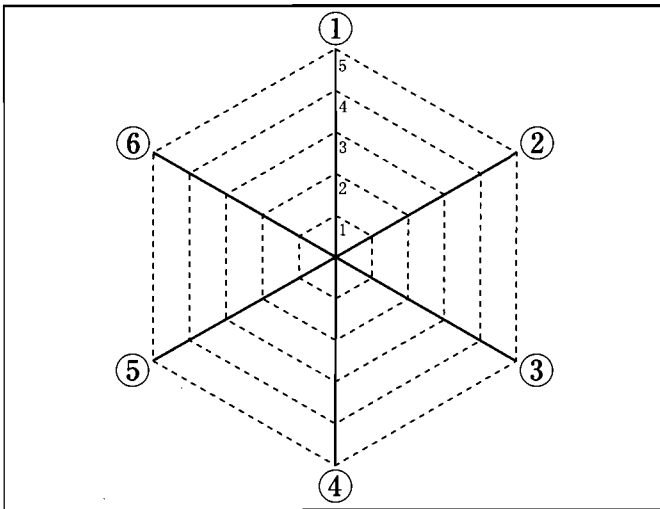
自己評価		

4年

	受講科目	評価

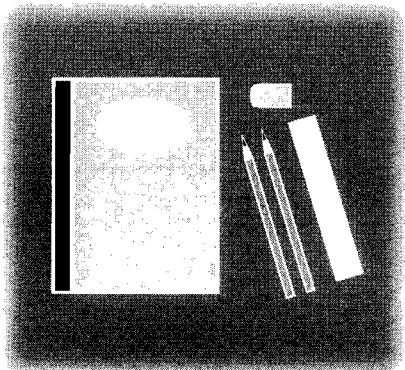
自己評価

レーダーチャート (1年黒 2年青 3年緑 4年赤)



指導・確認

1年	
2年	
3年	
4年	



● カルテ II 授業実践

- ①教材研究（教材解釈と学習材研究）
- ②指導計画・指導案（設計・作成、問題解決の学習過程、評価と学習活動）
- ③児童理解（受信と交流）
- ④授業実践力（発信と交流）
- ⑤個への対応
- ⑥授業評価

子どもたちがもつ能力を発揮させ、授業を魅力的かつ効果的に設計・立案し、実践する力の修得

1年

	受講科目	評価

自己評価

2年

	受講科目	評価

自己評価

3年

	受講科目	評価

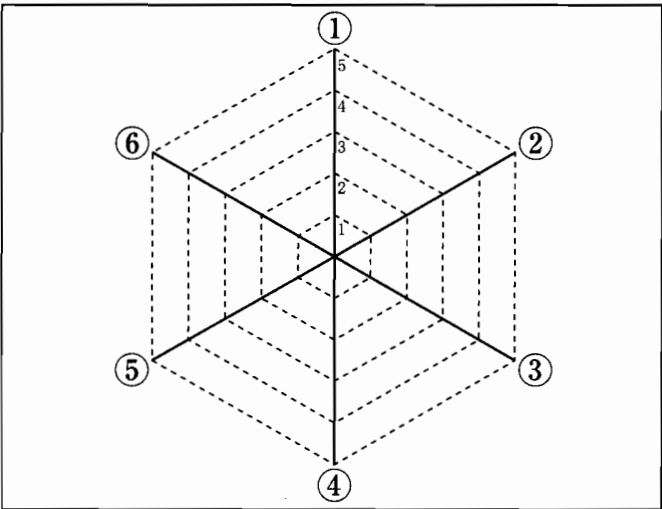
自己評価

4年

受講科目	評価

自己評価

レーダーチャート (1年黒 2年青 3年緑 4年赤)



指導・確認

1年	
2年	
3年	
4年	



● カルテⅢ 生徒指導

- ①児童理解とカウンセリング（受信）
- ②生徒指導力（発信）
- ③個別指導（個・集団への指導）
- ④進路・キャリア指導
- ⑤保護者対応
- ⑥特別支援を要する児童への対応

確かな児童理解に立脚し、個や集団との信頼ある人間関係を築き、問題に対する的確に対応・行動し、自己指導力を育む力の修得

1年	受講科目	評価

自己評価

2年	受講科目	評価

自己評価

3年	受講科目	評価

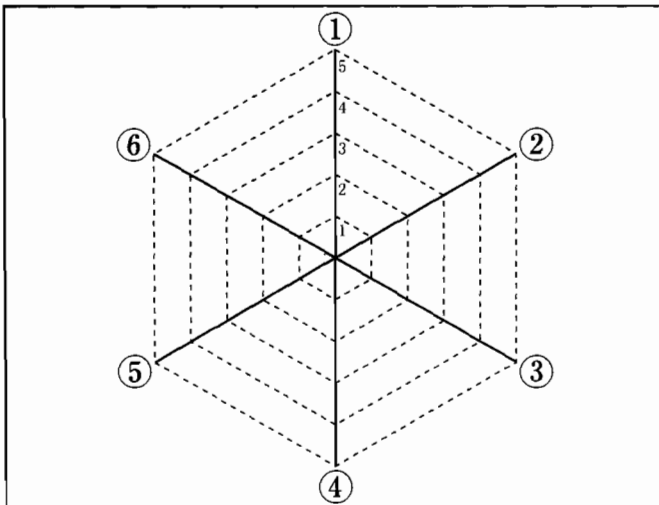
自己評価

4年	受講科目	評価

自己評価

レーダーチャート（1年黒 2年青 3年緑 4年赤）

指導・確認



1年	
2年	
3年	
4年	

● カルテⅣ 学年・学級経営

- ①学校・学年・学級理解
- ②学年・学級経営（協働力と経営実践）
- ③集団指導（全体・グループ）
- ④個別指導
- ⑤特別活動と学級指導
- ⑥アカウンタビリティ（説明責任）

子ども理解に基づいて、学年・学級を運営していく
指導・支援力と協働力、そして説明責任能力の修得

1年		受講科目	評価

自己評価

2年		受講科目	評価

自己評価

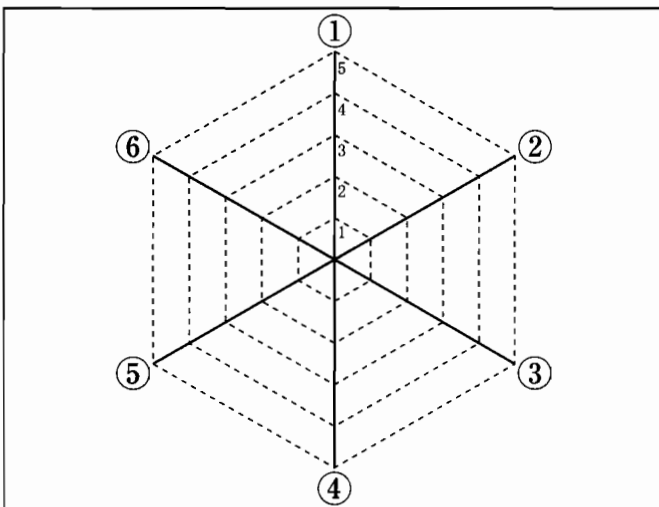
3年		受講科目	評価

自己評価

4年		受講科目	評価

自己評価

レーダーチャート（1年黒 2年青 3年緑 4年赤）



指導・確認

1年	
2年	
3年	
4年	

● カルテ V 現場実習

- ①教育実習
- ②観察実習（授業観察とプロトコル）
- ③介護・特別支援実習
- ④ボランティア実習
- ⑤研修・研究会参加
- ⑥その他の実習経験

子どもとの豊かな関わりを通じた、担任教師としての総合的な実践力の修得

（注：実習校や研修・研究会名も記述すること）

1 年	受講科目	評価

自己評価

2 年	受講科目	評価

自己評価

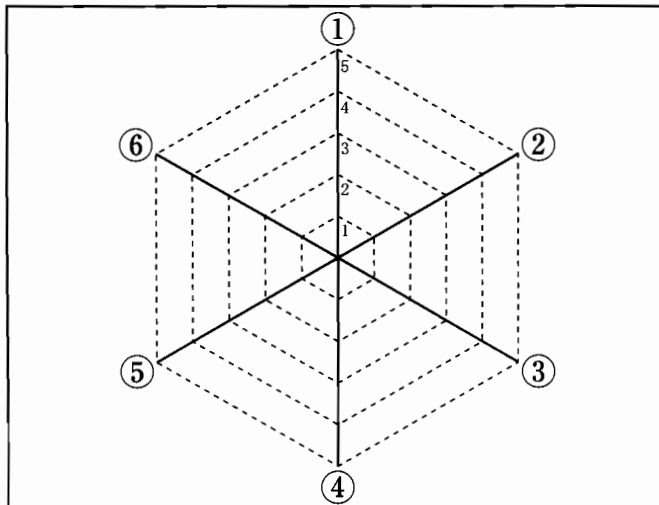
3 年	受講科目	評価

自己評価

4 年	受講科目	評価

自己評価

レーダーチャート（1年黒 2年青 3年緑 4年赤）



指導・確認

1 年	
2 年	
3 年	
4 年	

●カルテⅥ 新しい教育動向

- ①総合的学習等
- ②情報リテラシー
- ③外国語活動等
- ④社会参加
- ⑤教育改革の動向（指導要領改訂等）
- ⑥最新の教育情報

教育の新しい動向や施策に基づき、創造的な教師となるための探究力とリテラシーの修得

1年		受講科目	評価

自己評価

2年		受講科目	評価

自己評価

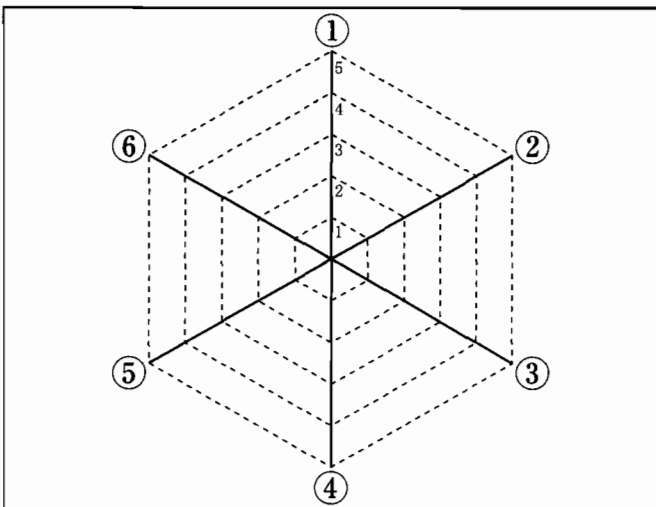
3年		受講科目	評価

自己評価

4年		受講科目	評価

自己評価

レーダーチャート（1年黒 2年青 3年緑 4年赤）



指導・確認

1年	
2年	
3年	
4年	

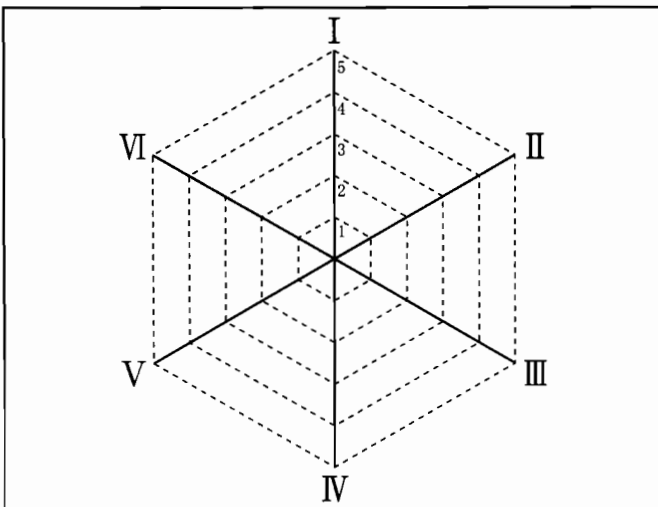
● 総合カルテ

- I. 教職基礎
- II. 授業実践
- III. 生徒指導
- IV. 学校・学級経営
- V. 現場実習
- VI. 新しい教育動向

教職基礎、授業実践、生徒指導、学年・学級経営、現場実習、新しい教育動向の6領域から見た総合的評価

1年	I. 教職基礎 ①教師像（使命感・責任感・意欲） ②教育的愛情（熱意・根気・フォローシップ） ③表現力とコミュニケーション力 ④協働意識（チームワークとリーダーシップ） ⑤児童心理と発達理解 ⑥法規理解と服務	1年総合自己評価
2年	II. 授業実践 ①教材研究（教材解釈と学習材研究） ②指導計画・指導案（設計・作成問題解決の学習過程、評価と学習活動） ③児童理解（受信と交流） ④授業実践力（発信と交流） ⑤個への対応 ⑥授業評価	2年総合自己評価
3年	III. 生徒指導 ①児童理解とカウンセリングマインド（受信） ②生徒指導力（発信） ③個別指導（個・集団への指導） ④進路・キャリア指導 ⑤保護者対応 ⑥特別支援を要する児童への対応	3年総合自己評価
4年	IV. 学校・学級経営 ①学校・学年・学級理解 ②学年・学級経営（協働力と経営実践） ③集団指導力（全体・グループ） ④個別指導 ⑤特別活動と学級指導 ⑥アカウンタビリティー（説明責任）	4年総合自己評価
4年	V. 現場実習 ①教育実習 ②観察実習（授業観察とプロトコル） ③介護・特別支援実習 ④ボランティア実習 ⑤研修・研究会参加 ⑥その他の実習経験	VI. 新しい教育動向 ①総合的学習等 ②情報リテラシー ③外国語活動等 ④社会参加 ⑤教育改革の動向（指導要領改訂等） ⑥最新の教育情報

レーダーチャート（1年黒 2年青 3年緑 4年赤）



指導・確認

1年	
2年	
3年	
4年	

□ 6領域の変容（合計点）

	領域	1年	2年	3年	4年
I	教職基礎				
II	授業実践				
III	生徒指導				
IV	学校・学級経営				
V	現場実習				
VI	新しい教育動向				

□ 教育ボランティア経験（学級介助・補助経験・移動教室補助・学校行事・研究会参加・その他）

種	学年	実習先	期間	内容
教育ボランティア経験	1年			
	2年			
	3年			
	4年			
研究・研修会参加				
その他の経験				

学籍	氏名
----	----

□教職課程の受講登録

登録年度	年度	(幼・小・中・高・養) 教諭	(1種・2種)	教科 ()
登録年度	年度	(幼・小・中・高・養) 教諭	(1種・2種)	教科 ()
登録年度	年度	(幼・小・中・高・養) 教諭	(1種・2種)	教科 ()
登録年度	年度	(幼・小・中・高・養) 教諭	(1種・2種)	教科 ()
登録年度	年度	(幼・小・中・高・養) 教諭	(専修)	教科 ()
登録年度	年度	(幼・小・中・高・養) 教諭	(専修)	教科 ()

□取得をめざす教員免許状

主免許	(幼・小・中・高・養) 教諭	(1種・2種)	教科 ()
主免許	(幼・小・中・高・養) 教諭	(1種・2種)	教科 ()
副免許	(幼・小・中・高・養) 教諭	(1種・2種)	教科 ()
副免許	(幼・小・中・高・養) 教諭	(1種・2種)	教科 ()
専修免許	(幼・小・中・高・養) 教諭	(専修)	教科 ()
学校図書館司書	()		

教職履修カルテの使い方

この履修カルテは、教職をめざす学生が、年間の教職課程受講履歴を振り返り、教員として必要な知識・技能と実践力を修得していくためのカルテです。
以下の点に留意して、6つの領域と総合評価に基づいて、自らの学びを自発的に積み上げ、確かなカルテを作成していきましょう。

- ①受講履歴は、不可/失格となったものも含め、すべてを記入する。
- ②6つの領域における6つの観点に沿って、1年間の授業の評価と自己分析に基づいた自己評価を記入し、レーダーチャート(1年黒 2年青 3年緑 4年赤)を作成する。そして、次年度の教職履修の目標を設定する。
- ③各カルテの観点評価は、5～0の6段階で記入する。

大きな成果を認める	5	成果を認める	4	ある程度の成果を認める	3
まだ努力を必要とする	2	今後の大きな努力を必要とする	1	成果無し	0
- ④総合カルテでは、各領域の合計点をもとに、以下の基準でレーダーチャートに記す。

(1年黒 2年青 3年緑 4年赤)			
30～26	5	25～21	4
20～16	3	15～11	2
10～1	1	0	
- ⑤各学年毎に、前年度までのレーダーチャートと比較しながら、全体のバランスを振り返り、次年度取り組むべき自己の課題と目標を記す。
- ⑥総合自己評価では、教職全体への取り組みを6つの領域の修得バランスに照らして自己分析する。特に、6つの領域のどこに自分の成果と課題が認められるのか、その成果と課題は、さらにどの観点についてのものなのかを明らかにする。